

施策評価管理シート

2023(令和5)年6月作成

施策体系	施策	3	活力に満ちて暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	1	地域産業の振興		
	施策	2	商工経済	産業部	山下 光彦

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 地域産品の活用や農商工の連携による新事業の育成、地産地消など地域内経済の循環促進を図り、商業・サービス業の振興さらには地域経済の活性化を図ります。
- 中小企業等に対する資金調達、経営指導、各種融資制度や補助金などの財源確保の支援を通じ、商工業の振興を図ります。

2. 令和4年度の取組内容及びその成果



- 新型コロナウイルス感染症拡大や物価高騰等の影響を受けた市内事業者へ支援事業を実施しました。
 - ・プレミアム付商品券事業(実施主体:名張商工会議所、利用冊数:58,838冊、市内消費額約3億円)
 - ・リフォーム等補助金交付事業(実施主体:三重県建設労働組合名張支部、補助件数120件、1,944万9千円)
 - ・ポストコロナチャレンジ促進事業(第1弾:補助件数141件〔法人62件・2,205万6千円、個人事業主79件・2,631万3千円〕)(第2弾(実施主体:名張商工会議所):補助件数108件〔法人48件・1,634万9千円、個人事業主60件・1,913万円〕)
- 令和4年7月に設立した名張市事業承継人材マッチング支援協議会(フミダス)においては、第三者による事業承継マッチングプロジェクトと攻めの経営への転換支援プロジェクトの二本柱として事業を展開し、第三者承継におけるM&Aプラットフォームと連携した事業承継窓口の開設や、事業所実態調査、各種セミナー、個別相談会等を実施しました。初年度の結果としては、事業所の人材マッチングの実績は得られませんでした。事業承継相談窓口には買い手・売り手からの相談もありました。事業所の新規事業展開実施件数が11件、セミナー・個別相談等参加事業者数が99事業所、セミナー・個別相談等参加人数が200人でした。
- 若者移住定住チャレンジ支援事業は、申請2件、採択1件の審査結果でした。採択内容は、八百屋・弁当総菜屋・移動式屋台を企画し、地元農家とのコラボレーションによる加工品の販売や、その加工品を取り入れた料理の提供、イベント出店やSNSを通じた積極的な情報発信など、名張産野菜の販路拡大と周知とともに、買い物困難者への移動販売等を行うものでした。
- とれたて名張交流館の経営については、令和4年度は単年度赤字の経営結果となり、設置本来の目的である農産物の取り扱いが横ばいの状況でした。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	達成率
買物や食事などの日常生活の利便性に満足していると感じる市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	65.0	100.0%
	成果	59.3	65.0	65.6	70.7	67.5	69.0	
とれたて名張交流館取扱額【延べ数】(千円)	目標	-	-	-	-	-	500,000	100.0%
	成果	99,687	192,990	307,185	419,540	540,593	643,833	

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- プレミアム付商品券事業やリフォーム等補助金交付事業、ポストコロナチャレンジ促進事業では、市内事業者に対し売上の維持、事業継続の支援を図ることができました。一方で、電子帳簿保存法などDXを見据えた経営が求められる中、今後は事業者に対して、その気づきをもたらすとともに、更なる支援体制が必要です。
- 名張市事業承継人材マッチング支援協議会(フミダス)では、初年度であり事業所の人材マッチングの目標は達成できませんでしたが、事業承継の課題解決においては時間を要するため、事業者に寄り添った長期的な支援を行う必要があります。
- 若者移住定住チャレンジ支援事業については、より多くの人々に知ってもらえる工夫が必要です。
- とれたて名張交流館の取扱額については、売上においても目標対比103%でした。しかし、販売商品の構成比を改めて分析すると農産品の売上比率が施設の設置当時から比べると下がっています。また、ふるさと納税返礼品の取扱いが経営に大きく左右する中、返礼品に頼らない経営の安定化策を検討する必要があります。引き続き、農産物の品揃えや魅力ある商品のラインナップ充実に向けて努力する必要があります。

5. 分析結果を踏まえた新総合計画推進に向けた施策の取組内容(令和5年度以降)



- 名張市事業承継人材マッチング支援協議会(フミダス)において、事業所の掘り起こしや、承継人材の発掘、承継マッチング事業を展開するとともに、事業者との信頼関係を築き、伴走型支援により事業所がより長く事業を継続できる仕組みづくりを推進します。また、同協議会の支援により、事業者が経営基盤の強化を行い事業継続への意識を高めるため、事業転換セミナー、DXセミナーを開催するなど、事業者の経営力向上に努めます。
- 若者移住定住チャレンジ支援事業においては、本事業により創業した事業者が持つネットワークによる情報発信をはじめ、広く周知が図れるよう努めます。また、本事業において、基金財源を有効に活用するよう引き続き適正な事業実施に努めます。
- とれたて名張交流館においては、農産物の品揃えの充実を目指し、出荷生産者への啓発や個別相談等も行うことで、農産品の売上比率を伸ばしていきます。また、安定経営を目指して経営体制の在り方等を検討します。
- ふるさと納税の寄附額拡大に向けては、令和5年5月に設立した名張市産業活性化推進協議会(ナウダツ)と連携を図り、事業者の開拓や新たな土産物や商品開発により返礼品の更なる充実を図るとともに、効果的なPRを行っていきます。また、企業版ふるさと納税については、企業側のメリットや制度及び活用事業の提案をトップセールスを含めて積極的にPRすることで、寄附企業の拡大に努めます。

施策を構成する主な事務事業

*R4決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和4年度内容	R4決算額	うち 一般財源
一般	住宅リフォーム等支援事業	市長直轄	地域活力創生室	新型コロナウイルス感染症の影響による地方回帰の流れを捉えた移住促進を目的として、名張商工会議所が実施する事業に対し、補助金を交付しました。 ・利用移住者 13世帯26人（うち子ども世帯 4世帯11人）	10,500	0
一般	商工会議所業務補助金	産業部	商工経済室	市内商工業の振興と中小企業の経営基盤強化を図るため、名張商工会議所の運営を支援しました。	3,989	3,989
一般	地場産業振興事業	産業部	商工経済室	創業者に対し支援を行い、新たな産業の創出や地域経済の活性化を図るとともに、物産PR等による地域産品のブランド化、販路拡大の促進に取り組みました。 ・若者移住定住チャレンジ支援事業（申請2件、採択1件） ・とれたて名張交流館による地産地消の推進	4,878	4,378
一般	住宅リフォーム等支援事業	産業部	商工経済室	建設業一人親方支援及びコロナ禍で市民の住環境機能向上等を目的に、三重県建設労働組合名張支部が「リフォーム等補助金交付事業」を実施するに当たり、その事業に係る経費相当分の補助を交付しました。 ・補助件数 120件、19,449千円	20,283	0
一般	令和4年度プレミアム付商品券発行事業	産業部	商工経済室	新型コロナウイルス感染症により、売上減少等の影響を受けた市内飲食店、観光業を支援するとともに、更なる市内の消費を喚起するため、第4弾プレミアム付商品券「名張のお店応援商品券」を名張商工会議所が発行するに当たり、商品券のプレミアム相当分等を補助しました（利用冊数 58,838冊、市内消費額 約3億円）。	129,077	0
一般	ポストコロナチャレンジ促進支援金	産業部	商工経済室	物価高騰等に伴う維持管理経費を抑えるため、事業者が省エネ・省力化の設備等を導入するに当たり、その経費の一部を補助しました（第2弾は名張商工会議所が実施主体となり、その事業に係る経費相当分を補助しました。）。 ・第1弾 補助件数141件 法人62件、22,056千円、個人事業主79件、26,313千円 ・第2弾 補助件数108件 法人48件、16,349千円、個人事業主60件、19,130千円	87,228	0